

嫌気性包装容器で大切な試料をお守りします

C-Bag



- ◆ 酸化されやすいタンパク質試料等を酸化・劣化から守ります。
- ◆ 酸化されやすいタンパク質試料の結晶化実験を、嫌気的条件下で行えます。



ベースフィルム	片面にシリカを蒸着した PET フィルム(12 μ m)
水蒸気透過度	0.08(m ² · d) 40°Cx90%RH ラミフィルムでの測定値
酸素透過度	0.1c m ³ (m ² · 24hr · MPa) 25°Cx80%RH ラミフィルムでの測定値
脱酸素剤	密封容器内で、脱酸素状態(酸素濃度 0.1%以下が維持されてる状態)を作ります。

名称 商品コード	巾×長さ(mm)	1セットの内容	袋入り数	料金	用途
C-Bag-S CRT601	外寸 60x125 内寸 60x125	C-Bag-S 1枚 脱酸素剤 1個 酸素検知剤 1個	10セット	¥2,600	【試料保存用】 1.5ml エッペンドフチューブを 2本収納可能
C-Bag-L CRT602	外寸 140x250 内寸 140x245	C-Bag-L 1枚 脱酸素剤 4個 酸素検知剤 1個	10セット	¥5,000	【タンパク質結晶化用】 タンパク質結晶化用プレート (150mmx117mm)を収納可能

- ◆ 商品の形状につきましては、別途特注をお受けします。
- ◆ 低酸素条件での培養実験向けには、厚さ80mmのものまで収納可能な立体成型品「C-Bag-DX」がございます。

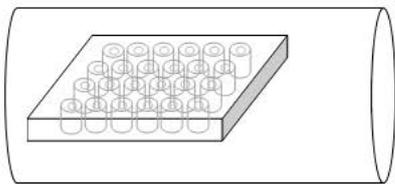
特長

1. 特殊コーティングを施した低ガス透過性フィルムを使用しています。
2. 付属の脱酸素剤・酸素検知剤により、酸化されやすい試料を酸化から守ります。
3. フィルムが透明で内容物の確認がしやすいので、結晶化実験等の観察が容易です。
また酸素検知剤の色で嫌気条件が保たれているか、ひと目で確認できます。

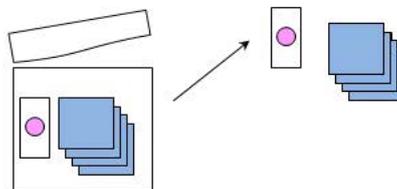
- ◆ 本脱酸素剤の主成分は特殊処理された鉄粉です。鉄が酸化する時に酸素と結合する働きを応用して、密閉容器内の酸素を吸収することで、酸化による悪影響を防ぎます。

使用方法

1 先に溶液容器をC-Bagに入れておきます。

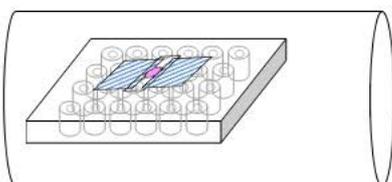


2 脱酸素剤と酸素検知剤を外袋から取り出します。

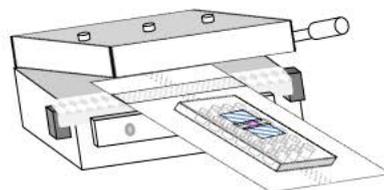


脱酸素剤の数は必要に応じて調節して下さい。

3 取出した2を1に入れます。



4 熱圧着器を使って密封します。



※ この時、包装内の空気をできるだけ追出して密封します。

! C-Bagは必ず熱圧着で完全密封して下さい。完全密封することにより、脱酸素剤の効果が期待できます。

! 脱酸素剤について

- ・冷凍下では酸素吸収速度が遅くなります。(例:-20℃で脱酸素状態にするには3~4週間かかる。)室温に戻すと本来の速度に戻ります。
- ・酸性製品やアルコールやPH調整剤等をご使用の際、脱酸素剤より錆びが発生する場合があります。

! 酸素検知剤について

- ・脱酸素状態(0.1%以下)ではピンク、酸素に触れて数分後にはブルーに変わります。封入作業はなるべく迅速に行ってください。
- ・開封する前に中の酸素検知剤がピンクを示していることを確認の上で使用ください。

◆ 特別仕様も製作可能 ◆

ご希望の採寸でC-Bagを作成することも可能です。詳細はご相談下さい。

開発・発売元

(株) コンフォーカルサイエンス



〒158-0081 東京都世田谷区深沢五丁目14番15号

Tel. 03-3864-6606, Fax 03-6411-6261

E-mail: info@confsci.co.jp <http://www.confsci.co.jp/>

販売代理店